

海洋理工学会平成 30 年度春季大会プログラム

(会場)東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館

6月7日(木) 13:00 - 17:30

シンポジウム「地球内部構造と変動から地震を考える」

- 13:00-13:10 趣旨説明 月岡 哲(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)
- 13:10-14:10 基調講演 「プレートテクトニクスの世界と更に深部の世界」
深尾 良夫(海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター)
- 14:10-14:50 S1. 地球内部の直接観察 - 深海科学掘削の成果とこれから -
倉本 真一(海洋研究開発機構 地球深部探査センター)
- 14:50-15:30 S2. 「ちきゅう」による南海トラフと日本海溝掘削成果
氏家 恒太郎(筑波大学)
- 15:30-15:45 休憩
- 15:45-16:25 S3. 深海底観測から調べる日本海溝近傍でのプレート境界の挙動
日野 亮太(東北大学大学院理学研究科)
- 16:25-17:05 S4. 南海トラフでの海底地震・地殻変動観測網の展開と展望
荒木 英一郎(海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター)
- 17:10-17:30 総合討論
- 17:40-19:00 イブニングセッション(東京海洋大学 食堂)

6月8日(金) 9:30 - 16:45

一般講演

9:30-11:10 生物・モデル解析 座長 畑 恭子(いであ株式会社)

- A1. 千葉県鴨川市の沿岸海域における線虫類の群集構造と種多様性
☆奥 俊輔・平岡礼鳥・亭島博彦(株式会社日本海洋生物研究所)
- A2. 動物プランクトンの「環世界」II-キクロプス目カイアシ類 *Oithona davisae* の行動研究から
○秋葉龍郎(産業技術総合研究所)・田中祐志(東京海洋大)
- A3. 東京湾に流入する化学物質負荷量の推定精度向上に関する研究
- 多摩川におけるビスフェノールAを対象として -
☆田井梨絵・亭島博彦(日本海洋生物研究所)、堀口文男・石川百合子(産業技術総合研究所)
- A4. 仙台湾に発生する貧酸素水塊発生機構
○中田喜三郎(名城大)
- A5. 海上自衛隊の海況予報に関する取組みについて
○落合 健・笹島雄一郎・川上慶高(海上自衛隊)、蒲地政文・石川洋一(JAMSTEC)

11:20-12:00 総会・学会賞表彰

12:00-13:00 昼休み

13:00-13:40 ポスターセッション

P1. ROV・AUVに取り付け可能な水中 LIDAR ロガーの開発

☆伊藤大智 (東京海洋大学 大学院)、田原淳一郎 (東京海洋大学 学術研究院)

P2. 小型 ROV システムの動作特性

☆加藤 哲・川村大和 (東京海洋大学)、田原淳一郎・和泉 充・井田徹哉 (東京海洋大学 学術研究院)、阿部拓三 (南三陸町)

P3. サンゴの生息環境評価法の検討と海洋温度差発電の影響予測

☆内田 恵 (日本総合研究所)、多部田 茂・水野勝紀 (東京大学大学院)

P4. 海洋温度差発電の放流水による環境影響シミュレーションモデルの構築

☆押味良太・多部田 茂・水野勝紀 (東京大学大学院)

P5. 水中昇降システムの運用 (その2)

○中村哲也・小嶺哲也・北澤裕司・川原寿能 (日油技研工業)

13:40-15:00 観測手法開発

座長 秋葉 龍郎 (産業技術総合研究所)

A6. 小型 ROV を用いた生物調査システム

☆川村大和 (東京海洋大学)、田原淳一郎・和泉 充・井田徹哉 (東京海洋大学 学術研究院)、阿部拓三 (南三陸町)

A7. Speedy Sea Scanner(SSS)の開発とサンゴの被度分布定量手法の提案

☆水野勝紀・多部田茂 (東京大学・新領域)、寺山 慧 (理化学研究所・京都大学)、阪本真吾・杉本祐介・小川年弘・杉本憲一 (ウインディネットワーク)、阪上雅昭 (京都大学)、深見裕伸 (宮崎大学)、出来真由美・岩岡千香子・川久保晶博 (西海国立公園九十九島水族館)

A8. アンモニウム態窒素の高感度窒素安定同位体比定量法の開発

○小松大祐・須原大将・有賀詩織・成田尚史 (東海大海洋)

A9. マントル掘削の技術課題

○難波康広・宮崎英剛・許 正憲 (海洋研究開発機構)

15:00-15:00

休憩

15:10-16:30 実験・観測手法・機器開発

座長 千賀 康弘 (東海大学)

A10. 風波水槽での気側ループ法の確立および風速鉛直分布の相違による風波への影響の検討

☆上村友祐 (近畿大)、高垣直尚 (兵庫県大)、鈴木直弥 (近畿大)、小森 悟 (同志社大)

A11. ブイ洋上気象センサーガードが及ぼす風速測定値への影響

○馬場尚一郎・横田牧人・福田達也・植木 巖・石原靖久 (海洋研究開発機構)

A12. 海水の低周波電磁場応答

○吉田 弘・出口充康 (海洋機構)、加藤信彦 (ASTOM)

A13. 音響中継器の開発

○田口正樹・白石健太郎 (マリン・ワーク・ジャパン)、宮城亜紀・笹倉豊喜 (アクアサウンド)、今井健太郎・福田達也・越智 寛・石原靖久 (JAMSTEC)、高橋成実 (NIED)

16:35 - 16:40 バストプレゼンテーション賞表彰(☆発表者が対象者)

16:40 - 16:45 閉会